

いかわ



議会 だより

No. 165

2026. 1. 1

新年号



悪い子はいねがー！

謹賀新年



大晦日に向け準備万端
(最終ページに関連記事があります)



12

月議会

(会期・12月9日～12日)

年頭の挨拶・議員の抱負	2
第4回定例会	3
常任委員会	4
一般質問（4議員登壇）	5～9
臨時会・全員協議会など	10～11
がんばってます!!インタビューなど	12

議長年頭あいさつ



井川町議会 議長

遠藤 政勝

新年おめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より議会に對しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

今年は午年、活力・情熱・行動力の象徴とされ明るく前向きな気質を持つと言われております。議会も積極的に前進する様、議会活動を展開してまいります。

さて、昨年は県内で人の生活圏でのクマの目撃や人身被害が相次ぎ、住宅地や学校通学路周辺での高齢者や児童生徒の安全確保が喫緊の課題となっております。短期対策は当然ですが、中長期的な対策を図る必要があると考えます。

全国町村議会議長会では、持続可能な地域社会を確立するため、地方創生の推進、町村の安定的な財政運営に必要な地方交付税等の増額確保、充実を国に要望しております。

議会は法律の定めにより、議事機関として、町の重要な意思決定に関する事件を議決し、検査、調査をするなど、住民の付託を受け、誠実に職務に努め、安全で安心な住みよい町づくりに邁進してまいります。

結びに、新しい一年が穏やかで災害のない、そして皆様にとって幸多き年でありますように心からご祈念申し上げまして新年のごあいさついたします。

新春を迎え、特に力を入れて

取組みたいことを聞きました。

(副議長以下議席番号順)



副議長 浅野 義幸

各地の四季折々の多種多彩なイベントや伝統行事に一つでも多く参加し、町づくりに役立てたい。



一番 伊藤 一彦

議員定数削減を目標にして、とにかく町民に近い議員を目指します。



二番 八柳 喜行

これからも町民の意見を聞き、町政に反映していきたい。



三番 石井 茂

ポピュリズム的言動が強くなっている。多様な考え方にどう対応すべきか知識を蓄えたい。



四番 伊藤 毅

持続可能な社会とまちのために、将来世代を見据えた熟議に動きます。



五番 伊藤 秀人

文章の構成力や語彙力を高めるために、月二冊以上の読書を今年の目標にします。



六番 三浦 成利

昨年以上に町民の皆さんと対面し、いろんな会話ができる様にしたい。



七番 藤田 将五

議員として消防団員として「自助・共助・公助」が連携する地域の自主防災組織づくりを推進していきたい。



八番 伊藤 俊郎

指定管理鳥獣(クマ、イノシシ、ニホンジカ)による被害防止に、積極的に取り組めます。



九番 佐々木昌子

一人でも多くの町民の方と顔を見て、思いを聞いたり、聞いてもらったりする時間を作っていききたいと思います。

事務局長 遠藤 慶太

町民皆様のご健勝とご多幸をお祈りします

防災備蓄倉庫設置条例を制定 本格運用へ

令和7年度一般会計補正予算

8240万円を追加し、総額46億3490万円に

歳出の主な内容

- 人件費 1263万3千円追加
- ふるさと納税返礼品 1800万円追加
- ふるさと納税業務委託 1167万円追加
- ふるさとづくり基金積立金 2979万円追加
- 若者子育てホーム循環事業費補助金 300万円追加
- 消防広域化臨時経費負担金 234万7千円追加
- Jアラート更改業務委託 553万3千円追加
- 下水道事業補助金 251万3千円追加

今定例会で審議した議案として、条例制定・改正9件、一般会計及び各特別会計、水道・下水道事業会計の補正予算9件、消防広域化に伴う火葬場に係る事務の委託について1件を全て原案どおり可決、承認。陳情6件を全員一致で採択し関係機関に意見書を提出した。その他、専決処分を含む2件の報告を受けた。新消防組合議会議員選挙については、議長指名推薦により、佐々木昌子議員と浅野義幸議員を選出した。

補正予算

- 一般会計 (8240万円追加、予算総額46億3490万円)
- 国民健康保険事業特別会計 (23万7千円追加、予算総額6億4449万6千円)
- 国民健康保険井川町診療所特別会計 (款項の金額補正、予算総額に変更なし)
- 介護保険事業特別会計 (204万7千円追加、予算総額8億4291万5千円)
- 介護認定事業特別会計 (款項の金額補正、予算総額に変更なし)
- 介護サービス事業特別会計 (1045万1千円追加、予算総額3億1245万1千円)
- 後期高齢者医療特別会計 (1099万8千円追加、予算総額8105万3千円)
- 井川町水道事業会計 (水道事業費92万6千円追加)
- 井川町下水道事業会計 (下水道事業収益及び事業費用251万3千円追加、資本的収入及び資本的支出70万円追加)

選挙	委託	補正予算								報告	審議結果一覧
・男鹿潟上南秋消防組合議会議員の選挙について 議長指名推薦により、佐々木昌子議員と浅野義幸議員を選出	・火葬場に係る事務の委託について	・令和7年度井川町下水道事業会計補正予算(第2号)	・令和7年度井川町水道事業会計補正予算(第2号)	・令和7年度井川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	・令和7年度井川町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	・令和7年度井川町介護認定事業特別会計補正予算(第1号)	・令和7年度井川町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	・令和7年度井川町国民健康保険井川町診療所特別会計補正予算(第1号)	・令和7年度井川町一般会計補正予算(第7号)	・専決処分した事件の報告について (和解及び損害賠償の額を定めることについて) ・手数料の徴収に関する処分についての審査請求に係る報告について	
全員賛成可決											

※条例制定・改正、陳情の審議結果は11ページに掲載。

常任委員会審査

クマ対応最前線 職員の安全確保を

総務産業

問 人事評価について、一般企業では採用しているところが増えてきているようだが、部下から上司への評価はあるか。

答 一般職員から提案はあった。しかし、運用方法が難しく実践できていないが、検討の必要はあると考えている。

問 井内児童館に係る見通しは。児童館の体をな

していないのであれば、早めに手を打つべきでは。
答 年度内に教育委員会より方向性は示されると思う。教育委員会とは今までも協議をしてきているので、この質問を伝達する。

問 督促手数料廃止に伴うデメリットは。

答 督促状を送付することとは変わらない。あくまで督促手数料のみの廃止となる。デメリットとして、手数料をとらないことによる納税への意志低



撮影場所：浜井川地区

危険性が極めて高いクマ対応

下など考えられる。事務負担が減ることにより本税の確保に力を注ぐほか、延滞金の徴収にシフトしていく。

た上で、ヘルメットだけでは心許ないことから、保護具等の購入費として計上した。

教育民生

問 8年4月からの「子ども誰でも通園制度」について、対象児は制度開始時点でどの程度確保できるのか。

答 今現在の職員数では、入園児童以外最大で12人が可能と試算できるが、来年度の入園状況次第で変わる可能性もある。

問 保護具等の購入について、猟友会からの要望があつてのものか、町が主体となつて必要と判断して計上したものか。
答 基本的に職員がクマ対応の現場で使用するもの。今年の事例として、県と一緒に住宅地での対応をした際、県職員から町職員に追い払いとタモでの捕獲を試みるよう依頼された。それを経験し

問 「若者子育てホーム循環事業費補助金」について、現在利用の2件は町内在住か転居者か。
答 町内在住者である。

問 移住促進も含め町外への広報に力を入れるべきではないか。
答 住宅業者に広報しているところもあるが、今後の手段も検討していく。

問 火葬場を潟上市に事務委託することについて、湖東地区斎場が潟上市の利用者が増え、利用率が高くなる可能性はあるか。
答 旧天王町の方については増加する可能性はあるが、利用者数はこのままの推移で行くのではないか。

問 備蓄倉庫について、備蓄品は新たに建設した備蓄倉庫1カ所にするのか。
答 分散方式でやる。他に大台地区防災センター・横岡防災センター・ゆうゆうの4か所に分散する。

井内児童館の今後は

一般質問

町の考えを問う

12月9日、定例会初日一般質問が行われ、4氏が登壇。全員一問一答方式で行われた。

P 6	伊藤 一彦 議員（一問一答方式）
	1 町の防災訓練について 2 ガバメントハンターについて
P 7	佐々木昌子 議員（一問一答方式）
	1 街灯および防犯カメラの早期増設について 2 義務教育学校での、いじめと不登校の現状について
P 8	伊藤 秀人 議員（一問一答方式）
	1 第五次井川町総合振興計画について
P 9	八柳 喜行 議員（一問一答方式）
	1 境橋の補修工事について

※質問の詳細は議事録で見ることができます。議会事務局にお問い合わせ下さい。

◆一般質問のルールについて◆

発言時間は1人30分以内。質問方式は、一括質問方式と一問一答方式があります。

一括質問方式とは

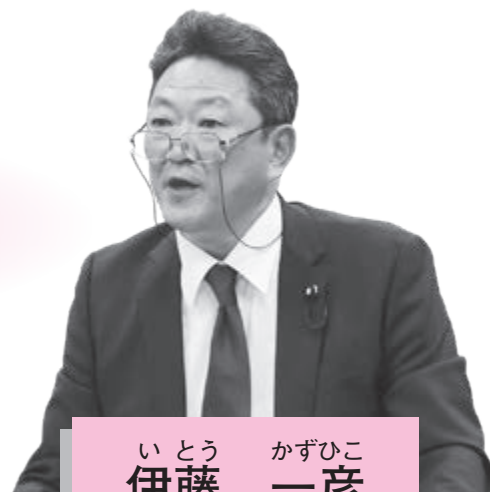
議員が通告した質問項目のすべてを一括して質問し、その後町長などが一括して答弁を行う方式。答弁は3回まで要求できる。

一問一答方式とは

議員が通告書に記載した質問項目ごとに質問・答弁を行う質問方式。1つの項目について質問が完結してから次の項目に移る。

一般質問

訓練マニュアルを作成する考えは 要請があれば対応する



いとう かずひこ
伊藤 一彦
議員

伊藤一 自主防災組織が
訓練内容や実施
に向けた段取りを企画
することは非常に難儀
である。行政が一步踏
み込んで、訓練マニ
ュアルを作成する考えは
ないか。

**町民生
活課長** 自主防災組織の
活動は、その地
域での活動が基本と
なっている。各自主防
災組織からの要望があ
れば、詳細な訓練マ
ニュアルの作成に協力
する。



10月18日 健康センター

災害に備えて、訓練を実施

地域防災マネージャー の採用は

11月に専門員として1名採用

伊藤一 地域防災対策に対
応するため、地域
防災マネージャーの採用
について伺う。

**町民生
活課長** 町では、11月1日
に内閣府が発効す

る地域防災マネージャー
の資格を持つ会計年度任
用職員を1名採用した。
今後、専門的な業務で活
動して頂く。

役場の防災訓練に参加でき ない職員への対応を伺う

業務命令として、全職員参
加を指示

伊藤一 事前に防災訓練に
参加しない職員
は、人事評価に影響させ
るとの発言があったのか
伺う。

事前には防災訓練に
して発している。事前に、
自分の趣味や遊びという
内容で休むのであれば、
適正に評価基準として人
事評価に跳ね返る事を理
解して貰った。

町長 全職員が参加する
ことを業務命令と

ガバメントハンター の活用は

広域的な採用が可能か動向
を見守る

伊藤一 異常なクマの出没
で、町民の不安や
生活への影響は計り知れ
ない。日本国花苑やキャ
ンプ場の閉鎖、学校周辺
や住宅地への出没に対し
て、ガバメントハンター
的な対応や活用を考えて
いるのか。

町長 ガバメントハン
ターの活用は、現
実に非常に難しい。町
単独ではなく、例えば地
域振興局単位、南秋田郡
単位で、ある程度広域的
に採用することが可能な
か動向を見守ってい
く。

一般質問

街灯、防犯カメラの早期増設を 効果が期待できれば検討する



さ さ き しょうこ
佐々木昌子
議員

佐々木 熊の出没が著しくなり、義務教育学校グラウンド等での出没は児童生徒や職員、保護者の不安や恐怖は多大なものである。軽減対策の一つとして、校舎周辺を今以上に明るくすべきである。特に正面玄関前は、部活を終えて帰宅する生徒にとり不安拭きに繋がると思う。街灯を増やし、過ぎる位の明るさで、下校時の安全の手助けに繋げるのはどうか。

町長 現状として、明るい認識している。下校時に暗いとの相談はないし、井川町通学路安全推進会議

でも話題になった事はない。校舎敷地内に新たな街灯設置は現状考えてはいないが、子供達の安全確保を考え、効果が期待できるのであれば検討していきたい。

佐々木 防犯カメラをもっと増やし、機能させるべきと考える。熊の追跡や位置確認も可能では。また住民の安心できる生活にも当然つながると思うが如何か。

町長 現状の防犯カメラは公共施設や学校周辺に設置している。増

設には住民のプライバシー侵害の観点から気をつける必要がある。また、追跡や位置確認ができるものではない。単純に防犯カメラをつけて安心だとか、クマ対策に資するということにはならない。特にプライバシー侵害には十分配慮し対応を考えなければならぬ。クマの出没確認のため、出没場所を想定しカメラを設置して検証することには効果があると思うので、十分に検討したいと考えている。

佐々木 井川義務教育学校でいじめと認められる事例はあるか。

教員 今年度6月までに11件あり、ひやかし・からかい・嫌なことをされる等々の内容。事実確認し8件の解決を図り、3件は継続し解決に向けての取組をしている。重大事態の発生はない。

学校でのいじめと不登校
の状況は
重大事態の発生はない

佐々木 関連した不登校の児童生徒はいるか。

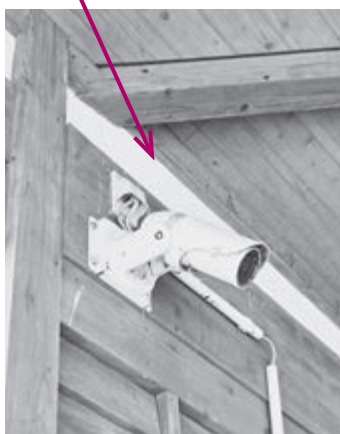
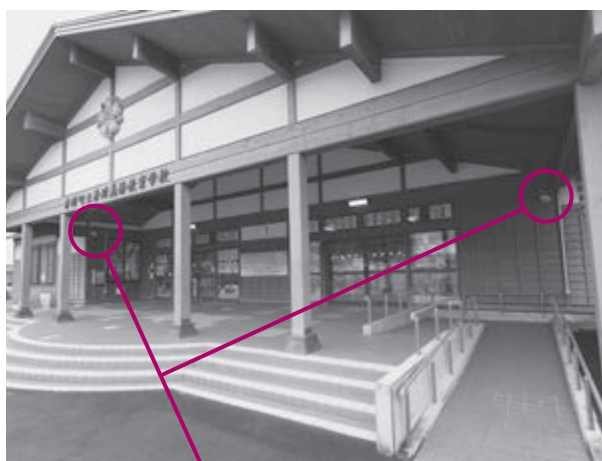
教員 いじめを主因として不登校になった事案はないと承知している。

佐々木 該当事案がある場合の教育委員会の対応は。

教員 先生達が先回りして解決しようとして話を焼くのではなく、子供達が自ら解決しようとする姿勢が大事で、それを助けるのが先生達という方向で考えている。

子供の数が少なくなり子供達自身の交わる力が弱くなってきた。大人との交流の機会も増やすべきと、教育委員会・学校支援協議会と子供達と意見交換をしている。

引き続き、子供達の豊かな交わりをいろんな機会を増やしていきたい。



義務教育学校玄関の防犯カメラ

一般質問

前期5年間の自己評価は 及第点をクリアしている



いとう しゅうと
伊藤 秀人
議員

伊藤秀 「第五次井川町総合振興計画」

の前期（令和3年度～7年度）の基本計画（まちづくりの基本方針）4項目の町長の自己評価は。

町長 自己評価という

か、町としてどれくらい進んだかという意味では、点数やパーセントで示すことはできないが、及第点はとうにクリアしたと言えると思う。及第点をクリアしているというところは、私自身、またそれを実施してきた職員に対する評価である。

後期5年間の最優先事項は

住みよいまちづくりが最優先

伊藤秀 「第五次井川町総合振興計画」の後

期（令和8年度～12年度）の基本計画（まちづくりの基本方針）の最優先事項（最注力事項）は。

町長 町長としての任期

があと1年2ヶ月で、基本的に1年2ヶ月でなにするかということだが、原則この5年間は全体の「第五次総合振興計画」について、基本方針のどれが欠けてもいけない認識であり、そのために努力する。

最優先事項は住民にとって住みよい町。残り1年2ヶ月で何をするかという、（住民）サービスをしつかり行うための、しっかりとした財源確保を行うこと。

国花苑エリアの旧小学校の解体、これは来年度



第五次井川町総合振興計画（冊子）

まちづくり基本計画

1. 環境・安全・インフラ

美しい自然環境を守り 町民が快適で安全に暮らせる まちづくり

2. 健康・福祉・共生

互いに尊重し 支え合いでつくる誰もが安心して暮らせる まちづくり

3. 産業振興

大地の恵みと人の知恵を活かし 多くの人々が集う まちづくり

4. 教育・文化・スポーツ

学び合いつながり合って 豊かな心を育む まちづくり

一般質問

境橋の高欄は早期の補修を 1月末に完了予定



やつやなぎ
八柳
よしゆき
喜行
議員

八柳 「境橋」の高欄の腐食がはげしく、橋りょうの体をな

していない状況が見うけられる。高欄は通行人の転落防止はもとより、安全に係る設備である。「万がいち」転落事故が発生してからでは遅いので安全対策について伺う。

町長 令和7年3月31日、高欄の笠木部分の落下を確認している。腐食部分のみの修繕を計画していたが、対応出来ないことが判明したので、笠木の交換を実施することとした。10月に修繕工

事を発注しているが、資材の納入待ちの状況であり、新年1月末までに終了予定である。

健全度調査の結果は

ランク3は1橋だけ

八柳 境橋の「健全度調査」のランク付と、

町が管理している橋数を伺う。

産業課長 町域全体では59橋あり、その内2級河川「井川」に架かるのは21橋の数である。橋の健全度は町のホームページの「井川町橋りょう長寿命化修繕計画」で公表している。ランク別とその講評、橋数は次のとおり

八柳 「健全度調査」に基づき今後の対応について伺う。

産業課長 法定点検は5年毎に実施している。常時の点検は、巡回パトロール、触診や目視等を行い、安全な通行確保に努めていきたい。

り
ランク1 健全な状態

5橋

ランク2 予防保全段階

15橋

ランク3 早期処置段階

1橋

ランク4 緊急処置段階

0橋

に区分され、境橋はラン



旧国道285号線

坂本町内にある境橋の現状。近くにアマノ井川店がある。

令和7年

第9回井川町議会全員協議会

令和7年11月7日(金)

◆案件

1. 男鹿・湖東地区消防広域化に関する協議に対する質疑
2. 町民との意見交換会の実施内容について
3. 現地調査における町への提言について
4. 令和8年度議員視察研修について
5. その他

令和7年 第4回井川町議会臨時会

令和7年11月14日(金)

○男鹿潟上南秋消防組合設立について
(全員一致可決)

○湖東地区行政一部事務組合規約の一部変更について
(全員一致可決)

○湖東地区行政一部事務組合の解散について
(全員一致可決)

○湖東地区行政一部事務組合の解散に伴う財産処分について
(全員一致可決)

○令和7年度井川町一般会計補正予算(第6号)について
(全員一致可決)

○工事契約の締結について
(令和7年度日本国花苑整備事業
キャンプ場宿泊棟建設工事)
(賛成多数可決)



令和7年度 所轄事務調査における現地調査

令和7年10月20日(月)

場所(調査目的)



①日本国花苑宿泊棟建設予定地
(事業進捗状況の確認)

②老人福祉センターゆうゆう調理室(加工施設改修及び加工用設備機器導入の現状確認)

③宇治木小泉地区排水路改修工事現場(工事完成後の現状確認)

④ふるさと納税返礼米加工場(ふるさと納税返礼米集荷及び管理状況確認)

⑤備蓄倉庫・(工事完成後の現状確認、備蓄品等保管状況確認)

終了後・意見交換会

令和7年度

南秋田郡 町村議会議員大会

日時

令和7年10月28日(火)

会場

井川町 農村環境改善センター

主催

南秋田郡町村議会議長連絡協議会

趣旨

新しいまちづくりを推進するために南秋田郡内の町村議会議員が一堂に会し、地域で抱えている課題や情報を交換し、相互交流を深め、地方自治の振興に資する(一部抜粋)。

講演

演題

「南秋田郡各町村の財務状況」

講師

財務省東北財務事務所長

関 正 人氏

条例の制定(2件) 改正(7件)

全員一致可決

- 井川町防災備蓄倉庫設置条例の制定について
- 井川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 井川町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例
- 井川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 井川町特別職の職員で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 井川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例
- 井川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例等の一部改正
- 井川町児童館設置条例の一部を改正する条例

陳情(6件)

採択(全員一致)

- ◆夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現のため国に意見書提出を求める
- ◆ケア労働者の処遇改善のため、報酬10%以上引き上げを求め国に意見書提出を求める
- ◆「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国へ意見書提出を求める
- ◆最高裁判決に基づきすべての生活保護利用者に対する速やかな被害回復措置を求める国への意見書提出を求める
- ◆「小・中学校給食費の完全無償化」のため、秋田県へ財政支援を求める意見書提出を求める
- ◆インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を継続するよう求める意見書を国に送付することを求める

町民の皆さん、議員と語り合いませんか!

井川町議会は、町民の皆さんと胸襟を開いて語り合い、皆さんのご意見・ご提言をお聞き致したく、下記日程で意見交換会を開催致します。

申込み不要で、お気軽にご参加いただけますので、多数のご参加をお待ちしております。

いつ 令和8年2月11日(建国記念の日) 午後2時より

どこで 井川町農村環境改善センター 1F(大集会室)

お問い合わせ先 議会事務局 ☎: 018-874-4425 有線: 4511
Eメール: gikai@town.ikawa.akita.jp

チームワーク強化と 後輩育成に取り組む



なまはげに扮した
菊地 一将さん
(羽立町内
こども育成会会長)

Q 育成会会長の立場で昨年来
振り返った時の成果やどんな
困難なことがありましたか。

A 一番苦労したのは人手不足
の解消と、それに伴う一部
役員への負担の偏りでした。
仕事とか家庭の事情で全
員が時間を作ることが難し
い中、特定の行事の準備が
特定のメンバーに集中して
しまうという傾向がありま
した。

Q それをどういうふうに乗
り越えようと思いましたか。

A 如何に父兄の負担を減らし、
効率よく運営していくか大
きな課題となりました。
役割を細分化したり、事
前の打ち合わせを密にして
乗り切ることができました。

Q それで何を学びましたか。
連携の重要性和効率的な負
担の分散の仕組み作りを学
ぶことができました。

Q 一方で、仕事の面、プ
ライベートの成果と反省は。

A 仕事面では部署だった
り、部内の意見の食い違いを調
整することというものが、自
分の中では難しかったかな
と思います。

Q プライベートでは、な
かなか自分の時間が作れな
かったというところですか。

A 仕事とか、プライベート
の面で挑戦したいことは。
チームワークの強化と、後
輩の育成に積極的に取り組
んでいきたいです。

Q 育成会会長として新しい年
を迎え目標は。

A 干支にちなみ情熱と行動力
と勇往邁進です。
育成会のご父兄の皆さん
と協力しながら、残り任期
が少ない中で進めていきたく
と思います。

(担当 伊藤 毅)

議会のうごき

- 9月11日 議会だより(No.164)編集委員会(以降3回) (役場：小会議室)
17日 第8回井川町議会全員協議会 (役場：議場)
19日 第8回議会運営委員会 (役場：正副議長室)
10月4日 第37回首都圏ふるさと井川会総会 (東京都：アルカディア市ヶ谷)
7日 五城目町町制施行70周年記念式典 (五城目町：広域五城目体育館)
7日 秋田県町村議会議長会理事会 (秋田市：市町村会館)
8日 井川町緑化並びに環境美化推進事業 記念植樹 (日本国花苑)
11日 第40回いわらんin国花苑 (日本国花苑)
18日 第4回八郎湖フォーラム (農村環境改善センター)
20日 所管事務調査における現地調査 (井川町内)
21日 湖東厚生病院運営委員会 (五城目町：グリーンロイヤル丸富)
24日 第50回井川町老人スポーツ大会 (井川町民体育館)
27日 議会陳情に関わる内容説明と懇談 (役場：正副議長室)
28日 南秋田郡町村議会議員大会 (農村環境改善センター)
11月7日 第9回井川町議会全員協議会 (役場：大会議室)
11日 秋田県関係自由民主党国会議員との懇談会 (東京都：グランドアーク半蔵門)
12日 第69回町村議会議長全国大会・研修会 (東京都：NHKホール)
12日 第50回豪雪地帯町村議会議長全国大会 (東京都：NHKホール)
14日 第9回議会運営委員会 (役場：正副議長室)
14日 第4回井川町議会臨時会 (役場：議場)
18日 秋田県知事との行政懇談会 (秋田市：市町村会館)
18日 県、市町村議会議長合同意見交換会 (秋田市：アキタパークホテル)
12月2日 第10回議会運営委員会 (役場：正副議長室)
3日 議会だより編集委員会 (役場：小会議室)
9日～12日 第4回井川町議会定例会 (役場：議場)

編集後記



明けましておめでとうござい
ます。町民の皆様には、健やか
で輝かしい新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。
昨年は未だかつてないクマの
出沒に翻弄され、みなさまの暮
らしを脅かされる事態になりま
した。種々対策は講じられてい
ますが、これが長期化しないこ
とを願うばかりです。

さて、年4回発行の議会だ
よりは、町議会により関心をお寄
せただけで、限られた紙
面ではありますが、分かりやす
く、読みやすい紙面づくりを目
指してまいりますので、本年も
どうぞ引き続きご愛読いただ
けますようお願い致します。

(伊藤 毅 記)

発行責任者	遠藤 政勝
編集委員長	石井 茂
副委員長	伊藤 毅
委員	伊藤 一彦
委員	伊藤 秀人
委員	三浦 成利
委員	藤田 将五